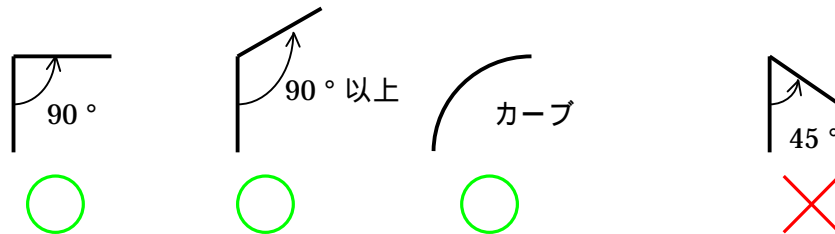


ロボカップジュニア 2009 レスキュールール FAQ(よくある質問)

英語版 (<http://rcj.robocup.org/rcj2009/rescue-faq-2009.pdf>) も参照してください。

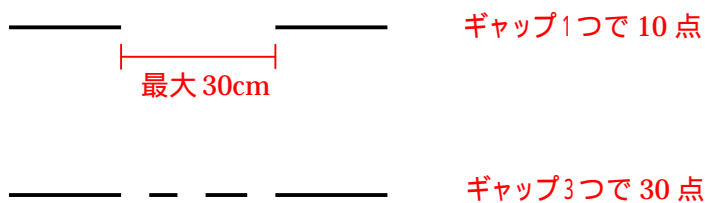
Q: 黒いラインはどのように曲がる場合がありえるのか? (ルール 1.4.1)

A: カーブや 90° 以上の曲がり方はいくつかある。 90° より小さい角での曲がり方はない。



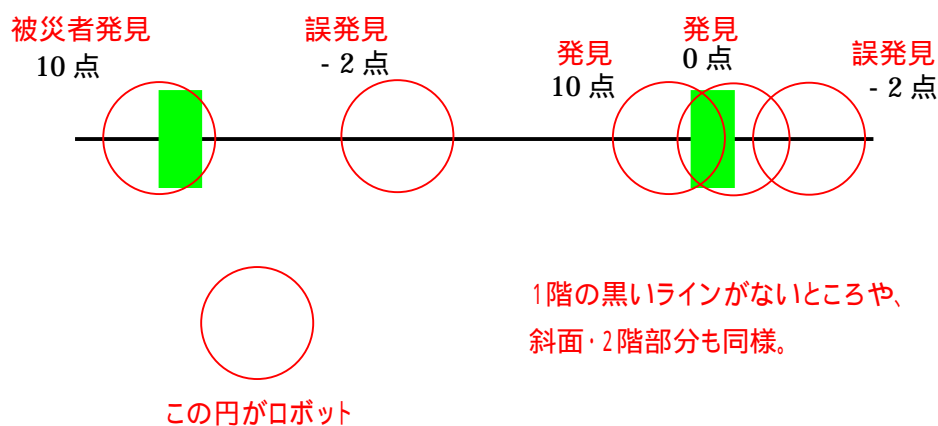
Q: 黒いラインで、何がギャップとしてみなされるのですか? (ルール 1.4.2 と 3.5.3)

A: (部屋の中や斜面で) 壁に沿って引かれた黒いラインのどの直線部分でも、30cm までのギャップを作ることができる。1つのギャップに一人なら被災者を置いてよい。1つのギャップを克服するたびにロボットには10点が与えられる。



Q: 被災者の誤った発見とみなされるのはどういう場合か? (ルール 3.5.2 と 3.5.10)

A: 同じ被災者に対して2回以上発見動作をしても得点・減点どちらもされない。被災者のいないところで、被災者を見つけた動作をすると、そのたびにロボットは2点減点される。



Q: ルール3.6.2は、ロボットが被災者を発見できなかったり、誤った被災者の発見をしたときには、ロボットのいる部屋の入り口に戻らなければならないということか？

A: いいえ。ルール3.6.2は、競技進行の停止のみに適用される。例えば、20秒以上、ロボットが同じ場所で動かなくなったり黒いラインから外れたままの場合のことである。被災者を見つけられなかったり、誤って被災者の発見をした場合は競技進行の停止とはみなされない。

Q: ロボットがいる部屋の入り口に戻されると、チームキャプテンはロボットをリセットしたり再スタートさせることはできるのか？

A: ロボットがいる部屋の入り口にロボットを戻すとき、チームキャプテンはリセットしたり、プログラムを再スタートさせてもよい。ただし、そのプログラムは競技進行の停止時に動いていたプログラムと同じものでなければならない。違うプログラムに切り替えることは許されない。